

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	4MF-2401
研究課題名	生殖細胞保存による希少猛禽類の域外保全の推進
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	京都大学
研究代表者名	村山美穂

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

猛禽類をはじめ、希少鳥類の生殖細胞を保存し将来的な野生復帰を見据え、生殖細胞の安定保存により、長期的かつ多様な遺伝資源保全を実現する内容であり、計画以上の成果が得られていると評価できる。また、遺伝的多様性の解析も進めており、オジロワシでは、飛来個体と留鳥個体の遺伝的分化を確認し、北海道内に2つの遺伝的集団が存在すること、オオワシはオジロワシより遺伝的多様性が低く、絶滅リスクが高い可能性があることなどを示しており、将来的には域外保全されている希少猛禽類のタイピングや近交を避けるための交配計画に役立つことも期待できる。さらに、死亡個体から速やかに生殖細胞が保存できる飼育施設との連携強化がはかれたことを高く評価したい。生殖細胞の保存マニュアルの作成など期間内に残された目標が完遂することを期待したい。